

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和元年度対象)

令和2年8月

富津市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	本市の点検・評価の概要	
2	教育委員の活動状況	
II	点検・評価	
1	学校教育の充実	5
	(1) 教育総務課の取組	7
	(2) 学校教育課の取組	9
	(3) 教育センターの取組	12
	外部評価者による評価	15
2	生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、 文化財の保護と活用	17
	(1) 生涯学習課の取組	18
	(2) 公民館等の取組	21
	ア 中央公民館	21
	イ 富津公民館・埋立記念館	23
	ウ 市民会館・峰上地区公民館	25
	外部評価者による評価	27
3	スポーツ・レクリエーションの振興	28
	(1) 生涯学習課（スポーツ振興係）の取組	29
	外部評価者による評価	31

I はじめに

1 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。

また、同条第2項では点検・評価に当っては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、これに基づき、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、令和元年度の点検・評価が終了しましたので報告します。

市民の皆様にも、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

平成27年度が目標年度であった「富津市第3次基本計画」及び「生涯学習推進計画」に代わり、「富津市教育施策」の施策指標とそれに対する到達点を3分野に分けて明示しながら、取組の実際と自己評価及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価 A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている。(一部に問題がある。)

C：事業の効果があまり現れていない。(多くの問題がある。)

富津市教育委員会

令和2年3月31日現在

職 名	氏 名
教 育 長	岡 根 茂
教育長職務代理者	坂 部 充 洋
委 員	小 坂 洋 子
委 員	池 田 亨
委 員	嶋 野 和 正

2 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等……………毎月開催、必要に応じて臨時に開催

4月25日 ・富津市社会教育委員の委嘱について

・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について

・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて

・教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について 等

5月30日 ・富津市学校評議員の委嘱について 等

6月27日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱及び任命について

・富津市教育支援委員会委員及び専門調査員の委嘱について 等

7月25日 ・令和2年度使用教科用図書の採択について

・教育に関する事務の管理並びに執行の状況の点検及び評価について 等

8月22日 ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について

・富津市一般会計予算教育費9月補正予算案について 等

9月26日 ・台風第15号対応により中止

10月31日 ・富津市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について

・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

・富津市スクールバス管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

・富津市遠距離通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示について

・富津市実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の制定の告示について 等

11月21日 ・富津市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて

・富津市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて

・損害賠償の額を定めること及び和解の専決処分の承認を求めることについて

・富津市一般会計予算教育費12月補正予算案について 等

12月19日 ・富津市教育委員会被表彰者の決定について

・富津市学校給食徴収規則の一部を改正する規則の制定について 等

1月30日 ・富津市学校給食共同調理場整備基本構想（案）について

・富津市学校医等の委嘱について 等

2月13日 ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について

・富津市一般会計予算教育費3月補正予算案について

・令和2年度富津市一般会計予算教育費当初予算案について

・退職教職員に対する教育功労者の表彰について 等

3月26日 ・富津市退職教職員感謝状贈呈式

3月26日 ・令和2年度富津市学校教育の指針を定めることについて

- ・富津市移動図書館車運営規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・富津市社会教育指導員に関する規程及び富津市家庭教育指導員に関する規程を廃止する訓令の制定について
- ・富津市文化財審議会委員の委嘱について
- ・富津市スポーツ・レクリエーション推進員の委嘱について
- ・富津市立小中学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則に制定について
- ・富津市一般会計予算教育費3月補正追加予算案について
- ・閉校となった富津市立小中学校の体育施設の利用団体登録等に関する要綱の告示について
- ・会計年度任用職員制度の導入に伴う関係要綱の整備に関する告示について
- ・富津市要保護及び準要保護児童生徒就学援助実施要綱の制定に関する告示について
- ・富津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定に関する告示について
- ・富津市教育振興事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について

(2) 教育委員会協議会……教育委員会の検討、協議の場

6月27日 ・教育委員会の点検・評価（平成30年度対象）について

(3) 総合教育会議……市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策等協議・調整を行う。

5月30日 第1回総合教育会議協議会

7月25日 第2回総合教育会議協議会

富津市教育施策に係る大綱

平成28年12月22日

富津市長 高橋 恭市

富津市及び富津市教育委員会は、豊かな心を育む教育と文化の香るまちを目指し、それぞれの施策を推進します。

(4) 教育長及び教育委員の研修等

5月15日 君津地方教育委員会連絡協議会総会

5月21日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会及び特別講演会
講演 「新しい学習指導要領におけるプログラミング教育について」

11月15日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回教育長・教育委員研修会
台風第15号対応により中止

1月30日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育長・教育委員研修会
講演 「特別な支援を必要とする子供への支援
～発達障害児を取り巻く多様な支援策と現場の対応～」

(5) 学校訪問

6月25日 富津小学校 経営概要説明・授業参観

7月1日 佐貫中学校 経営概要説明・授業参観

9月9日 竹岡小学校 台風第15号対応により中止

(6) その他

入学式・小・中学校音楽のつどい、成人式及び関係団体・機関の会議等に多数出席した。

なお、卒業式は新型コロナウイルス感染症の影響により児童生徒、保護者及び教職員で実施した。

II 点検・評価

1 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
学力向上推進事業 きめ細かな指導のため に配置された指導員数	外国人指導助手 (ALT) 3人	3人	3人
	自立支援指導員 4人	2人	2人
	学校適応指導相談員 2人	7人	7人
	指導補助教員 5人	6人	3人
	英語指導員 3人	8人	6人
	特別支援教育指導員 5人	3人	0人
	読書指導員 0人		
保護者アンケートによる「子供が確かな学力を身につけるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	平成28年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
	79.9%	90%	88.8%
教職員研修事業 自分の地域を肯定的に捉えられる子供の割合	平成28年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
	84.0%	90.0%	88.6%

教職員が地域に関する理解を深め、教育の質の向上を図ることにより自分の地域の良さが回答できる子供の割合	未実施	70.0%	94.5%
体力向上プログラムを活用した教科体育の充実	平成27年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
運動能力証交付率 (県平均との比較)	139.0%	148.0%	167.1%
体力・運動能力調査で県平均を上回った調査項目の割合	72.9%	80.0%	61.8%

(1) 教育総務課の取組	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育振興基金費 (81,318,357円) ・ 学校施設整備事業 (3,469,300円) ・ 空調設備設置事業 (459,071,712円) ・ 学校教育振興費 (15,324,744円) ・ 天羽中学校校舎改築事業 (1,109,830,724円) ・ 台風災害関連経費 (65,368,759円) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 積立金 工事請負費 公有財産購入費 理科教育振興備品 (1,992,600円) 教材備品 (2,863,162円) 図書備品 (3,340,831円) 等 工事請負費 (1,069,709,980円) 委託料 (27,168,426円) 備品購入費 (12,689,318円) 等 修繕料 (59,200,040円) 委託料 (4,764,138円) 補償補填及び賠償金 (1,404,581円)
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化に伴う天羽中学校校舎改築事業は、平成30年11月から校舎改築工事、機械設備工事、電気設備工事に着手し、令和元年11月の完成予定でしたが、天候不良及び台風第15号の影響により工期を102日間延長する変更契約を締結したことから、新校舎の供用開始が令和2年3月となった。 <p>なお、工期延長により、外構工事の適正工期が確保できないため、繰越明許とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、児童・生徒の熱中症対策として小中学校の全普通教室141教室に空調設備を令和元年5月までに設置し、6月から稼働した。 ・ 台風第15号及び台風第19号等の影響により、富津小学校体育館屋根修繕及びフェンス修繕、大貫中学校野球場バックネット並びに観覧席修繕及びフェンス修繕等を実施しましたが、市内全域で多くの被害が発生したため、復旧に苦慮した。 ・ 上記のほか、校舎等の緊急修繕を実施した。 	
<p>③ 今後の取組の方向性 (改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉校した小中学校の空調設備を、既存校の特別教室等へ移設する。 ・ 国土強靱関連事業補助金を活用し、小中学校のトイレ改修工事を実施するために、12月に設計業務委託契約を締結しましたが、設計業務を適正に行うため繰越明許とした。 ・ 天羽中学校校舎改築事業の外構工事を早期に実施し、スクールバス運行等の生徒の安全を確保する。 ・ 学校施設については、富津市教育施策のとおり安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な施設整備を実施する。 	

◎教育部全体での取組（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解していただくために教育かわら版を平成20年度から発行しており、今年度で通刊49号を迎え、計3号を区長回覧し、併せて富津市ホームページに掲載した。

7月発行の47号は、教育委員の紹介、自習室の開放、小学校での歯科保健指導、移動図書館等のおススメ本の紹介等、11月発行の48号は、台風第15号等により被災し、入浴等の支援をしてくださった自衛隊との交流、指定された学校以外への就学申請、新図書システム導入のための事前準備等、2月発行の49号は、新図書システムの紹介、学校給食における地産地消の推進、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。

財政収支改善策による経常経費削減のための検討は必要だが、今後も引き続き内容の充実に努め、発行は続けていきたい。



47号（R元年7月発行）



48号（R元年11月発行）



49号（R2年2月発行）

(2) 学校教育課の取組	教育委員会の自己評価
B	
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園就園奨励事業 (22,061,600円) ・ 幼児教育無償化事業【施設利用給付】(40,716,190円) ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 (22,122,758円) ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業 (2,525,751円) ・ 特別支援教育指導員 (9,210,405円) ・ 学校給食管理運営事業 (126,019,972円) ・ 給食材料費 (144,941,007円) 等 	
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園就園奨励事業 <p>市内に住所を有する補助金該当保護者の子293人(前年度比△3人)が通う、市内外の私立幼稚園7園の設置者に補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。</p> <p>平成28年度から補助額を国の限度額と同額とし、平成29年度から私立幼稚園就園奨励補助対象の園児に兄又は姉が2人以上いる世帯の多子計算に係る年齢制限を撤廃し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 <p>準要保護児童・生徒として250人(前年度比+12人)を認定し、学用品費・給食費・児童への通学費補助・医療費等の援助を行った。</p> <p>国の基準額の半額であった学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費等を平成28年度から同額とした。</p> <p>さらに、平成29年度から中学校入学前支給を実施していた新入学用品費について、小学校分についても入学前支給を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業 <p>特別支援学級在籍の児童70人(前年度比+10人)を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育指導員 <p>通常学級で過ごす特別支援を必要とする児童・生徒の支援のため、6人の指導員を非常勤で雇用し、延べ6校に派遣した。</p> <p>配置の効果は非常に大きく、学校からも増員に向けた切実な要望が寄せられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育無償化事業 <p>令和元年10月から幼児教育無償化により、満3歳から5歳までの幼稚園の入園料及び保育料を支給し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他 <p>児童・生徒の健全な育成と各種事故防止を図るため、学校と警察及び教育委員会が学校警察連絡委員会を組織している。</p> <p>平成30年度も連携を密にし、互いに協力して指導の万全を期した。</p>	

また、平成27年度から通学路の安全確保に向けた取組を関係機関（富津警察、国・県道路関係者及び市役所関係部署、PTA代表等）が連携して推進し、通学時における児童生徒の交通事故防止を図るため、「富津市通学路安全対策協議会」を立ち上げた。

各学校から報告のあった通学路の危険箇所を、関係機関で合同点検を行い、危険箇所の改善等が行われた。

- ・学校給食管理運営事業

共同調理場2箇所（大貫、天羽）及び単独校調理場（青堀小学校）の調理等業務並びに受配校への配送等業務を、民間会社に委託し継続して実施した。

また、平成29年度に学校給食運営委員会から「全ての調理場を統合し、新規に共同調理場を建設する。」という「学校給食施設整備に向けた提言書」を受け、「富津市学校給食共同調理場整備基本構想」を策定した。

- ・給食材料費

2共同調理場及び1単独校調理場で年間170日以上給食を実施して、児童・生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。

また、給食で提供する主な食材の放射性物質検査を行い、検査した延べ26品目全てで放射線は「不検出」だった。

- ・小・中学校再配置計画の推進

当該学校に設置している学校再配置個別計画検討協議会において、再配置に関する課題と対応策等の協議を行った。

PTA部会において新しい組織等について検討し、学校教職員部会では交流事業の実施や統合で使用する備品等の確認を行った。

また、スクールバス設置運行のため、保護者説明会（5地区5回延べ69人参加）及びスクールバス利用児童の試乗会を実施した。

③ 今後の取組の方向性（改善策等）

- ・幼児教育無償化、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助、特別支援教育児童・生徒就学援助事業

今後も幼児教育無償化事業の実施により、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図っていく。

就学援助2事業は、市の財政負担が高まる傾向にあるが、平成30年度から実施している小学校入学前に就学援助入学準備金の支給など、引き続き保護者の経済的負担の軽減を図っていく。

- ・特別支援教育指導員

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、さらなる充実を図っていく。

- ・学校給食管理運営事業

既存各調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持補修、工事等を実施していく。

「富津市学校給食共同調理場整備基本構想」を基に、新共同調理場の建設に向けて、具体的な計画等の検討・策定を行っていく。

- ・給食材料費

安全・安心で安定した給食の実施に向け、調理従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。

また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、各調理場での取組を公表する。

給食費未納者に対しては、今後も例規に基づいた対応を実施する。

- ・小・中学校再配置計画の推進

学校再配置によりスクールバスでの通学となった児童・生徒の登下校の安心・安全を確保し、効率的に通学できるよう努めていく。

また、今後も一定規模を有する教育環境へ改善を図るため、学校再配置について、検討していく。

(3) 教育センターの取組	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 (12,974,816円) ・教職員研修推進事業 (128,377円) ・外国語指導助手配置事業 (11,935,500円) 等 	
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 <p>少人数指導の推進と放課後学習教室試行のため、指導補助教員7人を、小学校2校、中学校3校に配置し、授業中の個別指導や適応指導教室での学習支援を行った。</p> <p>個に応じた指導への各学校からのニーズは高く、今後さらに増員を目指したい。</p> <p>また、放課後学習教室パイロット校として、湊小学校に加え青堀小学校にも指導補助教員2名を配置し、今年度は全校児童から希望者を募り放課後学習教室を実施した。</p> <p>アンケート調査によると、子供たちの学習意欲の向上や学習の場の確保についての効果が伺えた。</p> <p>学力向上推進委員会を組織し、本市の学力の課題を分析した結果、「思考して書く」ことに対する意欲が少しずつ向上してきたことが分かったため、その意欲を学力向上につなげるための授業改善や読書の推進に力を入れることにした。</p> <p>また、「読むこと」「書くこと」の指標を定め、目標達成に向けて教務主任会とも連携し、各学校で取り組んだ。</p> <p>その結果、「読むこと」について、『読書が好き、どちらかというが好き』と答えた児童・生徒の割合は、小学生が85% (92%) 【※ ()内は指標の目標値】中学生が72% (88%)</p> <p>児童・生徒の読書時間について、小学生で「1日16分以上読書をする児童の割合」が36.5% (60%)、中学生で「全く読書をしていない生徒の割合」が63.3% (50%以下)であった。</p> <p>「書くこと」について、「授業で黒板に書いてあることを書き写している児童・生徒の割合」は、小学生が78% (89%)、中学生が90% (93%)。</p> <p>『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童・生徒の割合について、小学生が78% (81%)、中学生が74% (79%)であった。</p> <p>生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員4人を小・中6校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に配置した。</p> <p>県から派遣されたスクールカウンセラーは、中学校5校小学校3校に配置し、延べ1,633件 (昨年度1,601件、32件の増) の相談活動を行った。</p> <p>長期欠席者が引き続き減少傾向にあるので、継続して原因に応じた対応に取り組んでいきたい。</p> <p>精神科の専門医による相談は、8件 (昨年度7件)、教育センターへの電話及び来所による</p>	

相談は19件（昨年度18件）であった。

昨年度の10月から「いじめ相談メール」も開設し、相談の窓口を広げる。

情報教育推進の一環として、令和2年度から小学校で導入される「プログラミング教育」についての研修を、コンピュータ主任会議や夏季研修講座で実施した。

また、学習用ソフトの活用に関する研修も実施し、コンピュータ活用率の向上も図った。体力・運動能力の向上については、運動能力証交付率は目標を上回る成果をあげることができたが、体力・運動能力調査では、小・中学校共に20mシャトルランの数値が県平均を下回る学年が多かったことが課題である。

・教職員研修推進事業

夏季教職員研修会は、教科指導や教育相談、学級経営やPC研修等を含めて11講座開催。今年度も、自身の課題に基づく希望参加を継続した。

教職員一人平均1回以上参加の意識も高まり、延べ266人の自主的な参加があった。

また、キャリア教育の一環として、新富工場協議会の協力を得て、新富地区の工場見学も昨年度に引き続き実施した。

階層別研修としては、新規採用教職員研修、指導補助教員等研修、生徒指導担当者研修、特別支援教育コーディネーター研修、管理運営研修（教頭・教務主任対象）等を実施した。また、若年層教員の育成に尽力してもらうため中堅層職員研修を実施し、今年度も千葉県総合教育センターの職員を講師に迎え、グループワークでの課題解決型研修を行った。

また、指導主事・教科指導員・食育指導員等が学校からの要請を受け、延べ113回（昨年度105回）、指導案作成への助言や校内授業研修会等の講師としての役割を担ったり、小・中学校児童生徒に対して食育指導を実施した。

・外国語指導助手配置事業

今年度も3人のALTを雇用し、全小・中学校において活用できるように配置した。

派遣契約のため、各校での打合せや担任との連携が充実した。

更に小学校の外国語・外国語活動には3人の英語指導員の雇用を継続し、ALTとともに学級担任の指導を補助した。

③ 今後の取組の方向性（改善策等）

学力向上推進事業では、各種学力調査の結果を分析し、学力向上推進委員会において、課題への対応を継続する。

特に、「読むこと」「書くこと」の指標の達成に向け、「読むこと」（読書好きの子供を育てる）、「書くこと」（記述に強い子供を育てる）への取組を充実させたい。

また、総合戦略にあるきめ細かな教育の充実や地域の良さの実感に向け、保護者・児童・生徒へのアンケートを実施し、家庭（地域）・学校・教育委員会の連携を図りながら、目標達成を目指す。

いじめ相談メールについては、まだ1件も相談メールが届いていない現状があるため、周知の方法について再度検討し、改善を図っていきたい。

運動能力証交付率については、目標を大きく上回る成果をあげているが、部活動ガイドラインが策定され、今後、児童生徒の運動量が減少することが考えられるため、目標値はそ

のまま据え置くこととした。

教職員研修推進については、新学習指導要領の完全実施を視野に入れて、今後とも教育現場のニーズや今日的な課題に応じた研修の実施に努めるとともに、研修内容の更なる充実を図っていききたい。

外国語教育については、今年度から小学校外国語活動の教科化が完全実施となった。

教職員研修の充実や英語指導員の配置の工夫など指導の充実を図っていく。

情報教育の推進として、令和元年度に補正予算を組み、国のG I G Aスクール構想を推進していくこととなった。

国のG I G Aスクール構想に基づき、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現させていくため、令和2年度中に学校のネットワーク環境を整備し、できるだけ早く1人1台の情報端末を整備する。

今後も、教育センター職員がきめ細かな学校訪問を心がけ、子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育、生徒指導、教育相談といった側面からも引き続き支援をしていく。

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価	B
意見	
<p>学校施設の老朽化に伴い、多くの学校で不具合が起きていると推察します。限られた予算のため、「富津市学校施設整備基本計画」に基づいて計画的に整備していくのは妥当であり、着実に進めていただきたいと思います。</p> <p>台風第15号及び第19号の影響による学校施設の修繕や緊急を要する施設の修繕に、苦慮した面もあると思いますが、迅速に対応し、児童生徒が安全で安心して学べる環境が整えられたと思います。</p> <p>特に、熱中症が心配された時期には、近隣市に先駆けて全小中学校の普通教室にエアコンを設置し、稼働できたことは、児童生徒の生命を守る観点から評価できます。</p> <p>更に、特別教室にも、学校統合により、閉校となった学校のエアコンを速やかに設置する計画を着実に実施してほしいと思います。</p> <p>また、学校が避難所になっていることから、体育館へのエアコン設置も検討願いたいと思います。</p> <p>就学援助2事業や幼児教育無償化により、保護者の経済的負担の軽減に努めたことは評価できます。</p> <p>財政的にも厳しい面もあると思いますが、家庭の経済状況にかかわらず、全ての子供が質の高い教育を受けられるよう他課や部署の進める子育て支援策との連携を図りながら予算の充実に努めてほしいと思います。</p> <p>特別支援教育指導員をはじめ、様々な指導員が各学校に配置されたことは、学力向上に向けた人的支援策としてとても有効だと考えます。</p> <p>雇用人数の目標値に到達していない指導員もいますが、学校にとってはどれも必要不可欠な指導員ばかりです。</p> <p>予算を確保し、引き続き目標値に到達するよう努めてもらいたいと思います。</p> <p>また、教職員の資質向上も学力向上にとっては欠かせません。</p> <p>現場のニーズや今日的な課題など、教職員の自主性を重んじた研修は評価でき、今後も続けてほしいと思います。</p> <p>「教育かわら版」は、富津市の教育情報誌としての役割を果たしていると思います。市民のニーズに応えた魅力ある内容を模索しながら、市や学校のホームページ、地区の回覧等を通じて、多くの読者を獲得してほしいと思います。</p>	

外部評価者（Ⅱ）の評価	B
意見	
<p>台風第15号及び第19号により甚大な被害に見舞われ、市内の復旧も滞るなか、大きなプロジェクトを抱える教育委員会の事業を進めていくのは大変であったと推察します。</p> <p>それに加え、年度末には新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校など、想定外の事態への対応に苦慮されたことと思います。</p>	

その様ななか、教育総務課、学校教育課、教育センターの取組については、富津市教育施策の目標に向け各事業が実施されていることと推察します。

まず、教育総務課ですが、天羽中学校校舎の改築事業や全普通教室への空調設備設置、それに加え、台風被害箇所への復旧等が実施され、学校環境の整備が進められました。

台風の影響により天羽中学校校舎の完成が遅れてしまったことは残念でしたが、今後も各学校のトイレの改修や通学路の整備など、他部局等の協力を得ながら安全・安心な学校環境の整備に取り組んで頂きたいと思います。

学校教育課では、私立幼稚園就園奨励事業や要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業で運用面等の見直しを行って来たことに加え、今年度から幼児教育無償化事業の導入により子育て家庭の経済的負担軽減を図ったことは評価いたします。

今後もこれらの制度の利用促進に努めていただきたいと思います。

学校の再配置では、スクールバスの運行準備など苦労されたと思います。

今後も利用する児童生徒の利便性向上に向け見直し等行っていただきたいと思います。

また、新共同調理場の建設は、安全安心面、経済面などの観点からも早期実現に向け進めていただきたいと思います。

教育センターでは、学力向上に向け、各種学力調査やアンケート調査などのデータを分析し、学力向上推進委員会に於いて課題の抽出、分析、対応を繰り返し行っているものと思います。

さらなる学習意欲向上に向け尽力されることを望みます。

勉強することの楽しさを子供たちに伝えていただければと思います。

また、少人数指導や放課後学習教室、新学習指導要領への対応など各学校からの要望も多いことと推察いたします。

各種要望に対応するための予算確保に努めていただき、学校訪問などを通して各学校へのきめ細かな支援をお願いいたします。

2 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、

文化財の保護と活用

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
人材バンク「まちの先生」の利用件数	45件	90件	80件
図書利用冊数	25,260冊	26,000冊	21,253冊
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	943人	1,000人	792人
子供会育成連絡協議会事業の参加者数	263人	300人	401人
指定・登録文化財の件数	85件	87件	85件
史跡見学会・講演会参加者数	754人	850人	367人
市民文化祭参観者数	17,469人	18,000人	13,299人
公民館・市民会館利用者数	100,049人	110,000人	76,823人
埋立記念館入館者数	1,445人	2,000人	1,426人

(1) 生涯学習課の取組	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員関係費 (337,480円) ・ 生涯学習推進事業 (71,280円) ・ 生涯学習バス設置事業 (4,293,897円) ・ 図書館費 (含：移動図書館事業) (6,391,685円) ・ 子供会活動事業 (340,000円) ・ 青少年相談員活動事業 (869,305円) ・ 市内遺跡発掘調査事業 (2,160,746円) ・ 民間開発発掘調査事業 (1,031,269円) ・ 文化財・文化財施設環境整備事業 (3,950,780円) ・ 史跡案内板・説明板設置事業 (74,800円) ・ 高宕山のサル被害防止事業 (2,460,000円) 等 	
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習推進事業等 <p>生涯学習情報提供誌を発行し、まちの先生や出前講座などにより学習を支援した。 社会教育委員会議では、令和元年度から社会教育施設についての検討を始めた。 今後、施設のあり方や整備方針等について、素案を作成する予定である。 家庭教育指導員の企画運営で平成30年度に中央公民館で開設した。 富津市版の放課後子供教室「放課後ルーム」は、「家庭教育支援チーム設置推進事業補助金」 を活用して家庭教育支援員を増員し、富津小・環小に2箇所増設して、計3箇所を実施した。 また、平成28年度から社会教育指導員を中心に開設している中学3年生を対象とした、富 津市版地域未来塾「学習サポート会」を、11月から2月まで実施した。 今後は、地域学校協働活動も推進していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習バス設置事業 <p>平成29年度から1台体制となり、年間200回までを定額運行、超過分を単価契約に</p>	

よる運行とし、より多くの需要に応えつつ効率化を図った。

令和元年度は、災害等による運休の時期もあり減少となった。(平成29年度203回、6,049人→30年度201回、5,871人→令和元年度174回、4,664人)。

・図書館費・移動図書館事業

減少傾向にあった年間貸出冊数が、環境の改善による利用者の増加や、移動図書館のステーションを見直した効果もあり、近年、増加していたが、令和元年度は、台風被害による移動図書館の運休や新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)予防のための閉館等により減少した。(平成29年度28,382冊、平成30年度31,416冊、令和元年度21,253冊)

市民の利便性を向上させるため、既存図書施設をネットワーク化し、図書管理システムを導入して、令和2年2月から供用を開始した。

災害等により貸出冊数が前年度比△32.3%、貸出利用者数が△35.7%(10,875人→6,992人)と激減したのに対し、リクエスト(予約)数が△5.8%(955冊→900冊)にとどまり、図書館機能の向上が図れた。

環境整備の一環として、平成29年度から始めた大規模な図書の除籍を引き続き実施した(7,484冊)。

学校図書1,707冊も合わせて市民に提供する「図書リサイクル会」には、402人が訪れ、2,891冊を市民に配布した。

第4回目となる「図書リサイクル会」は、市役所ロビーで「富津蚤の市」と共同して9月8日～11日に実施した。

なお、3月に予定していた第5回は、感染症予防のため中止となった。

・子供会活動事業

各種の子供会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会が実施され、子供会活動及び組織の充実が図られた。

・青少年相談員活動事業

キャンプ大会、文化祭(なんでもヤリーナ20分・模擬店)、新年子供大会等が実施され、青少年健全育成活動が推進された。

10月に予定していた鋸山での青少年のつどい大会は、台風被害のため中止となり、2月末のドッジボール大会に変更したが、感染症予防のため、中止となった。

・内裏塚古墳史跡購入事業

国史跡内裏塚古墳の周溝部分2筆の土地の買上げを行い、公有化を図った。

・市内遺跡発掘調査事業

横峰遺跡、飯野陣屋三の丸跡、亀塚遺跡、川島遺跡3・4、植ノ台遺跡9の計6箇所の発掘調査を実施するとともに、平成30・令和元年度に調査した計8遺跡の整理作業を行った。

・民間開発発掘調査事業

平成30年度に実施した民間宅地造成事業に伴う打越遺跡の発掘調査の整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行した。

・その他文化財関係事業

文化財周知板設置事業では、老朽化に伴う付替を恩田やぐら、岩見堂やぐらで実施した。文化財・文化財施設環境整備事業では、例年実施する古墳等の草刈作業に加え、台風被害を受けた飯野陣屋周濠部の樹木伐採等を行った。

「鋸山」の文化財指定関係では、鋸南町と共同で『「鋸山」日本遺産認定推進協議会』を設立し、認定に向けて官民一体で取組、令和2年1月24日に文化庁へ認定申請書を提出した。高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺、特に指定地域及び要現状変更地域内に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や出前講座・講演会などへの参加者は367人（前年度比△99人）であった。

③ 今後の取組の方向性（改善策等）

生涯学習推進事業については、君津地方4市での推進大会へ積極的に参加するとともに、生涯学習情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を継続して実施する。

社会教育委員会議では、社会教育施設のあり方や整備の方針について、引き続き検討していく。

また、令和元年度から家庭教育指導員を軸とした「家庭教育支援チーム」を設定し、家庭教育支援員を配置して3箇所を増設している「放課後ルーム」では、社会教育指導員や市民の協力のもと、地域学校協働活動の推進に向け、地域・家庭・学校が連携した「活動の場所」や「居場所づくり」を目指したい。

図書施設については、令和元年度に導入した図書管理システムによって、利用者自身が端末から蔵書検索やリクエストができるようになったサービスを活かした運営をしていくとともに、蔵書の整理等を進め、快適で安全な環境づくりに取り組む。

文化財については、保護と継承に努め、保存と活用を図る。

各種開発から埋蔵文化財を守り、また、開発により保存できない場合には、発掘調査による記録保存の策を講じる。

史跡等公有地化整備事業として、内裏塚古墳単体の公有地化を引き続き進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての整備構想を検討する。

鋸山については、日本寺エリアが県指定の名勝となっていることから、石切場跡までの範囲拡大、更に国名勝への格上げに取り組む。

市内の文化財周知板の整備を進め、新設や老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、民間からの協力も得て説明板を設置する。

その他、文化財関係事業として、市の歴史や文化財に関して、市のホームページの充実を図るなど、広報活動に努める。

<p>(2) 公民館等の取組 ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館学級・講座関係活動事業 (531,866円) ・市民文化祭事業 (680,908円) ・中央公民館管理運営事業 (18,744,336円) 等 	
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭事業 <p>富津市民文化祭実行委員会の企画・運営により市民自ら積極的に運営し実施した。生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り、豊かな文化の向上と創造の心を養う文化祭となるよう努めた。</p> <p>11月1日から11月3日まで富津公民館・中央公民館・市民会館の3会場で実施し、1,473人(前年度比△274人)の出展者で2,150点(前年度比△790点)の作品、出演者1,496人(前年度比△146人)、参観者延人数は、13,299人(前年度比△972人)であった。</p> <p>文化祭は、日頃の活動成果の発表や披露、様々な芸術作品の鑑賞などができる貴重な場となっているものの、生涯学習を活動する主たる年代の高齢化が進んでおり、参加者が限られてくる傾向にある。(台風の被害により総合社会体育館の展示催しが中止となったことや富津公民館の芸能祭を開催しなかった影響から参観者延人数が減少した。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・講座事業 <p>対象別(青少年・婦人・成人・高齢者等)や課題別(歴史文化・工芸・健康等)の15の学級・講座(前年度比+2)を開設した。</p> <p>市民に幅広く学ぶ機会を提供することにより、人づくりや地域づくりを推進した。</p> <p>学級・講座全体の開催回数は、96回(前年度比△10回)、参加延人数は1,413人(前年度比△68人)であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 <p>主に1階憩い室及び事務室の空調機設置や、1階男子トイレ及び憩い室の照明器具交換などを実施し、施設の管理運営に支障を来たすことのないように努めた。</p>	

③ 今後の取組の方向性（改善策等）

市民文化祭事業は、事業実施後に実行委員会が反省会を行っている。

この内容を次年度に生かし、より充実した市民文化祭となるよう取り組んでいく。

学級・講座事業は、市民の生活課題や地域社会の共通課題を把握するとともに、多様化している市民のニーズに対応した学級・講座を開設し、学校や地域の各種団体等と連携するなど、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。

中央公民館は、築後47年が経過し、老朽化に伴い改修の必要な箇所が増加してきている状況である。

財政状況を踏まえつつ計画的な施設整備に努めたい。

学級・講座開催状況

令和2年3月31日現在

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	シルバー生きがい学級	9	173	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習する。
2	さわやか女性セミナー	6	150	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
3	折り紙教室	7	62	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学習する。
4	はつらつウォーキング教室	8	120	ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進を図る。
5	富津フォトハイスクール	4	53	一眼レフカメラで実際に風景などを撮りながら撮影技術を学習する。（初心者の方にも丁寧に指導します）。
6	外国人のための日本語講座	23	310	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とのコミュニケーションがとれるようにする。
7	大人のためのわらべ歌教室	4	55	昔から歌い継がれてきたわらべ歌について理解を深め、その楽しさを子供達に伝えていくための、取組を支援する。
8	いきいき健康体操教室	5	76	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある器具を使って、弱点を克服する体操を学び、グラウンドゴルフ・レクゲームを行い、心身の健康増進を図る。
9	男の悠遊教室	7	87	男性を対象に日常的に習慣化出来る体操の習得、料理・園芸などの体験、健康等をテーマにした講演を取り入れ、心身の健康増進を図る。
10	キルト教室	8	83	生活の中で不要となった布を「より華やかに、品良く、用・即・美」をコンセプトに創作して、リサイクルの推進を図る。
11	ICT教室	4	28	昨今の急速なITCの発展によって、生活が大きく変化をしている中で、AIやロボットなどのITCがこれからの社会や生活にどのような影響を与えるのかを考える。
12	みんなのプログラミング教室	4	40	生活の様々な面で活用されているコンピュータの仕組みを知り、興味や理解を深めることで、より主体的に活用するためのきっかけを作る。

13	子供折り紙教室	4	1 1 6	親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた日本の伝統工芸折り紙を楽しむ。
14	子供チャレンジ教室 (将棋)	1	3 4	令和元年度は『”遊び”を通じて子供の論理的思考能力を高める』ことをテーマに、地域サークルとの交流など、日常では触れる機会の少ない体験を学習する。
15	子供チャレンジ教室 (プログラミング教室)	2	2 6	
	合 計	9 6	1, 413	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価	B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館学級・講座関係活動事業 (469, 860円) ・成人式事業 (641, 730円) ・富津公民館管理運営事業 (96, 708, 951円) ・埋立記念館管理運営費 (3, 070, 353円) 等 		
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式事業 新成人を祝って、令和2年1月12日に開催し、新成人代表の実行委員会企画運営による式典を行った。 新成人記念行事として「数あてゲーム」を実施し、後日、中学3年生時に本人が書いた「二十歳への手紙」を郵送した。 今年の新成人該当者は468人で、内328人が式典に出席し、出席率は70.1%であった。 ・学級・講座事業 対象別 (親子・成人・高齢者等) や、課題別 (歴史文化・手工芸・園芸・健康等) の17の学級・講座を開設した。 今年度は、新たに「子供のチャレンジ教室」と「インドヨガ体験教室」を行い、全開催回数は99回 (前年度比△21回)、学級・講座全体の参加延べ人数は1, 988人 (前年度比△289人) であった。 ・施設整備 富津公民館では、冷暖房設備の空調機改修工事及びホール棟屋上防水改修工事を実施し管理運営に支障を来たすことのないように努めた。 ・埋立記念館は、1, 426名の利用者であった。(前年度比△999人) 		

② 今後の取組の方向性（改善策等）

令和2年富津市成人式では、新成人代表による実行委員会が「自らが作る成人式」として式典の企画運営を担い実施したので、今後の成人式も実行委員会での実施を継続していく。富津公民館は、築後36年が経過し、老朽化による設備故障等の発生頻度が年々高まる傾向にあるが、令和元年度に空調機改修工事及び空調機の改修に伴いホール棟屋上防水改修工事を実施したので、今後も館の運営や事業に支障を来たすことのないよう、施設の維持管理に努める。

埋立記念館は、平成27年度から、入館料の無料化と平日の無人化を実施することとなったが、今後も入館者数の増加に向け、広報等に努める。

学級・講座事業については、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。

学級・講座開催状況

令和2年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	4	176	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学習する。
2	園芸教室	6	190	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。
3	男の料理教室	8	169	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学習する。
4	東京湾学講座	9	307	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習する。
5	健康スクール教室	8	119	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学習する。
6	わらべうた遊びと共育ち教室	6	123	子育ての中に、わらべうた遊びを豊かに取り入れ、親子のふれあいを深める。
7	初めての紙バンド手芸教室	8	92	古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバッグや小物等の実用品からアートまで幅広い作品を作る。
8	大人チャレンジ教室	1	17	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
9	エコパッチワーク教室	7	103	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学習する。
10	陶芸教室	9	112	お皿や小鉢など、世界に一つだけの「私の器」作りを楽しむ。
11	古文書を読む会	8	127	市内に伝わる古文書から、歴史について学習する。

12	ポールウォーキング教室	5	105	足腰の弱い方でもポールを使った負担の少ないウォーキング方法を学び、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
13	折り紙教室	7	87	指先を使うことにより脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて、季節の飾りや折り紙の作品づくりを学習する。
14	初心者のための外国語教室	6	69	東京オリンピック・パラリンピックを控え、初歩的な英語・中国語・韓国語や、それぞれの文化を学び、外国の方たちへの、簡単な挨拶や道案内の方法を学習する。
15	子供のチャレンジ教室	2	64	日常で触れる機会の少ない体験学習を通じて、挑戦する心、自主性、創造性を育み、仲間づくりについて学習する。
16	インドヨガ体験教室	5	128	本場インド人の講師によるヨガを体験して、身体的・精神的健康を維持することを学習する。
	合計	99	1,988	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館学級・講座関係活動事業 (359,702円) ・市民会館文化事業交付金 (1,000,000円) ・市民会館管理運営事業 (28,738,875円) ・峰上地区公民館管理運営事業 (1,308,514円) 等 	
<p>② 令和元年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・講座事業 <p>対象別 (青少年・成人・高齢者等) や課題別 (教養・歴史文化・健康等) に17の主催学級・講座等 (前年度比△1) を開設し、市民に幅広く学ぶ機会を提供し、講座を通じての人づくりや地域づくりに寄与した。</p> <p>今年度は、新たに「プリザーブドフラワー教室」を行い、開催回数95回 (前年度比△36回)、参加延べ人数1,677人 (前年度比△930人) であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 <p>市民会館では、冷温水循環ポンプ (FCU用) 付属配管取替修繕・冷却塔防鳥網設置修繕等の修繕を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化事業 <p>富津市民文化事業として隔年で実施している「ふつつ学びの門」事業は、令和元年12月15日、富津公民館にて歌舞伎「あんまと泥棒」を開演し489人の入場者であった。</p>	

③ 今後の取組の方向性（改善策等）

主催事業である学級・講座が、常にフレッシュな内容であるよう努め、参加者や各種団体等と連携して、新しい年代層や受講者の増加に努める。

また、自立が見込める教室・講座は、サークルとして活動を広げていけるよう促すとともに、地域の人材を活用した新たな教室・講座の開設に努め、人づくりや地域づくりの拠点として事業を展開していきたい。

市民会館は、築後30年が経過し、老朽化が進んでいるので、市民が快適かつ安全、安心、便利に利用できるよう、財政状況を踏まえつつ、計画的な施設整備に努めたい。

峰上地区公民館については、築後56年経過している上、木造であるため施設整備等に対する保守点検を徹底し、安全性の確保及び管理運営に支障を来たすことのないよう努めたい。

学級・講座開催状況

令和2年3月31日現在

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	6	140	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	子供ダンス教室	10	234	リズム感を養いながら音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学習する。
3	ディスカバーふつつ	2	33	「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。各回15キロ程度歩く。
4	エコ・スクール	3	78	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学習する。
5	シルバー生きがい学級	4	69	高齢化が進む中、レクリエーションや学習をとおし参加者が触れ合える場を作り、仲間づくりをする。
6	和菓子教室	6	108	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学習する。
7	季節の草木染め講座	4	54	四季の中で育った草木を使い、染め物の染料とすることを考えた先人の知恵「草木染め」を学習する。
8	シニアのためのスマートフォン講座	1	14	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。(シニア向け)
9	コーヒー講座	4	36	体に良いコーヒーの入れ方や、お菓子に合うコーヒーの選び方等、日常に使えるコーヒーの講座。

10	小筆教室	3	24	住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。
11	初めてのソーパークーピング	6	40	タイ王宮の伝統工芸であるソーパークーピングを基礎から学習する。
12	ポールウォーキング教室	4	49	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
13	お話し会	18	469	幼児を対象としたお話し会を開催し、親子が触れ合うとともに同世代の親子が知り合う場の提供、図書室の利用促進を図る。
14	お話し会ボランティア会議	11	90	お話し会を運営するボランティアによる会議
15	名画座	6	151	ホールにて視聴覚教材を用いた映写会を開催し、市民が手軽に名画を鑑賞するとともにホールの活用を図る。
16	プリザーブドフラワー教室	2	32	生花に特殊加工を施し、風合い、みずみずしさ、ソフトな感覚を長時間保つことができるプリザーブドフラワーを初心者の方でも楽しみながら様々なアレンジを学習する。
17	子供チャレンジ教室	5	56	日常で触れる機会の少ない体験学習を通じて、挑戦する心、自主性、創造性を育み、仲間づくりについて学ぶ。
	合計	95	1,677	

外部評価者による評価

外部評価者（I）の評価	B
<p>意見</p> <p>公民館や市民会館が、人材の掘り起こしや富津市人材バンク「まちの先生」の活用により、市民の多様な学習の機会を提供することに努め、既存の教室・講座に加え、新たな学級を開設できたことは評価できます。</p> <p>今後は、アンケート等により各地域の住民のニーズを把握して、参画意識を高め、多くの市民が主体的に参加できる学級講座の開催を期待します。</p> <p>生涯学習の拠点である公民館などの施設・設備の老朽化が進んでおり、事業に支障がないよう各施設が工夫しながら取り組んでいると思います。</p> <p>大規模修繕も踏まえ、計画的な修繕計画を立て、取り組んでいくことを望みます。</p> <p>図書館・移動図書館事業は、文化の香るまちづくりとして、重要な事業です。</p> <p>核となる中央公立図書館がない中、多くのボランティアの方々の活動により、市民参加の図書館づくりが推進されていることは評価できます。</p> <p>また、本年度は、台風や新型コロナウイルスの影響により貸し出し冊数は減少しましたが、令和2年2月に懸案だった新図書管理システムが導入され、大幅に利便性が高まり、貸し出し数の増加が期待できると思います。</p> <p>補助金を活用しての放課後子供教室「放課後ルーム」の増設や地域未来塾「学習サポー</p>	

ト会」の開催は、地域学習協働活動を推進する上で評価できます。
 今後は、学校統合による新たなコミュニティの構築とともに、地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動の充実を期待します。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

意見

生涯学習課、各館ともに広範囲に渡る社会教育を担うなか、限られた予算を有効に活用し、各職員が創意工夫し、各事業を進めているものと思います。

また、今年度は、台風や新型コロナウイルス感染症の影響で、各イベントの中止など計画的に行うことが出来ず苦慮されたことと推察いたします。

その様ななか、生涯学習課では、放課後子供教室の増設や富津市版地域未来塾の実施、図書管理システムの導入、また、認定には至らなかったものの「鋸山」の日本遺産認定申請など、各種取り組みは、評価に値するものと思います。

今後も市民のニーズに応えるべく生涯学習の推進を図っていただきたいと思います。

公民館等においても、限られた予算のなか各団体と協力しての各種教室、イベント等の実施など、各職員の苦労がうかがえます。

今後も新しい意見を取り入れながら市民のニーズに対応した教室・講座の開設やイベント等の実施を進めていただきたいと思います。

また、老朽化が進む各施設の維持管理は大変だと思いますが、施設の点検や予算確保に努め、計画的な施設整備を進めていただきたいと思います。

3. スポーツ・レクリエーションの振興

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	平成27年度	令和2年度 (目標値)	令和元年度 (到達点)
スポーツ関連の行事参加者数	15,603人	16,000人	5,665人
総合型地域スポーツクラブの数	1箇所 〈平成22年度設立〉	2箇所	1箇所

スポーツイベントの様子



<p>(1) 生涯学習課の取組 スポーツ振興係</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業 (3,659,158円) ・ふれあいスポーツフェスタ事業 (中止) (34,013円) ・スポーツレクリエーション推進事業 (225,342円) ・市体育施設管理運営事業 (48,453,660円) 	

② 令和元年度の取組の概要と効果（成果・課題等）

・社会体育振興事業

市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりをする中で、豊かな生活が営まれるように各種スポーツイベント等を実施。

また、スポーツ推進委員及びスポーツ・レクリエーション推進員と連携して、誰でも気軽に参加できるニュースポーツの普及に努めた。

富津市長杯争奪少年野球大会 77人（前年度比：△10人）

富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 120人（0人）

第37回F T S少年剣道大会 362人（+12人）

「県民の日」記念第36回グラウンドゴルフ大会 91人（+13人）

「県民の日」記念第36回バドミントン大会 234人（△14人）

第26回F T S杯争奪少年柔道大会 162人（+18人）

第38回F T S杯争奪少年野球大会 80人（△18人）

第25回健康ウォークラリー大会 58人（△5人）

君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会 138人（△215人）

第38回F T S杯争奪インディアカ大会 19人（+1人）

第28回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 34人（△19人）

第25回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 46人（△9人）

君津地区スポーツレクリエーション祭（インディアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ） 56人（+3人）

富津市教育長杯争奪少年野球新人大会（中止）

第7回ふれあいドッジビー大会（中止）

第44回ママさんバレーボール大会 90人（+6人）

第36回市民ハイキング（中止）

第49回元旦歩こう大会 310人（△34人）

第49回新春バドミントン大会 114人（△147人）

第32回新春グラウンドゴルフ大会 95人（+10人）

スポーツ教室（毎週土曜日） 3,579人（△1,149人）

・ふれあいスポーツフェスタ事業

市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に多くの市民がスポーツに親しめるよう、実行委員会を中心に準備を進めていたが、台風第15号の影響により中止とした。

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体を指定管理者として適正な管理に努め、市民サービスの向上を図った。

総合社会体育館 メインアリーナ

627件 46,537人（△14件 △10,864人）

サブアリーナ

642件 4,319人（△515件 △5,475人）

会議室等

50件 371人（+4件 +0人）

富津運動広場 47件 830人（△30件 △657人）

新富運動広場 72件 7,316人（△49件 △9,047人）

浅間山運動公園 テニス等 673件 3,744人 (△261件 △1,572人)

フットサル 9件 88人 (△16件 △223人)

野球 84件 2,946人 (△28件 △1,577人)

旧社会体育館については、令和元年度に解体工事を実施した。

- ・小中学校体育施設開放事業

71団体 8,257日 172,003人 (延数) (△4団体 △579日 △2,039人)

- ・第42回千葉県民マラソン大会

市民等の心身の健全な発達とスポーツ振興、富津市の名産品などの紹介や販売を行うことによる観光振興に寄与することを目的として、千葉日報社と協力して千葉県民マラソン大会の開催準備を進めていたが、感染症予防のため、中止となった。

③ 今後の取組の方向性 (改善策等)

- ・社会体育振興事業

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等の参加者が増加するよう検討する。

また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

- ・ふれあいスポーツフェスタ事業

令和元年度は、台風第15号の影響により中止、今後は、関係団体との協議を重ねながら、準備を進め、内容の充実を図っていく。

- ・市体育施設管理運営事業

総合社会体育館の老朽化に伴い、各施設ともに大規模な改修等が必要となっていることから、計画的に補修を進めていく。

- ・小中学校体育施設開放事業

各団体の利用調整を図り、健康増進、スポーツの振興に繋げていきたい。

外部評価者による評価

外部評価者 (I) の評価

B

台風第15号や新型コロナウイルスの影響による、やむなく中止したスポーツ事業もありましたが、関係者の努力により、ニュースポーツの普及やスポーツイベントの実施ができたのは良かったと思います。

スポーツ関連の行事参加者数が昨年度より減少しています。

スポーツ事業の内容や実施方法、広報活動など、検討する必要があると考えます。

今後、新型コロナウイルスへの対応を踏まえ、スポーツ推進委員やレクリエーション推進委員と連携しながら、「新しい生活様式」に沿って市民の多様なニーズに応じたスポーツ・レクリエーションを実施し、健康的な生活を維持する場の確保に努めてください。

現在、総合型地域スポーツクラブは、平成22年度に設立した1箇所のみとなっており、目標値の2箇所には、なかなか到達していません。

総合型地域スポーツクラブは、身近な地域で子供から高齢者がスポーツに親しみ、体力向上や健康の維持・増進等に寄与するものです。

引き続き、クラブの支援活動を推進するとともに、早期に新たなクラブの設置を望みます。

体育施設の老朽化により、大規模改修の必要性に迫られています。

市民が安全で安心して施設が利用できるよう、改修の優先順位をつけ、計画的に行っていただきたいと思います。

また、指定管理者とも緊密に連携をとりながら、引き続き市民が安全で安心して利用できるよう努めてください。

外部評価者（Ⅱ）の評価

B

今年度は、台風被害や新型コロナウイルス感染症の影響により各種大会、イベント等が中止となり、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も延期となってしまいました。開催を目指し、努力して来た職員をはじめ各種団体の皆様の苦労が実らずとても残念に思います。

未だに先の見えない新型コロナウイルス感染症のなか、各種大会、イベント等の実施やスポーツによる市民の健康づくり、高齢者の健康寿命の延伸策などについて、スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員、各種スポーツ団体の皆様と協力し、近隣市等の取組状況なども参考にしながら、新たな施策を検討していただければと思います。